

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	働き方改革を進め、教職員の子供と向き合う時間を確保することで、授業を改善し学力の向上を行う。
------------------	--

学校名	新座市立池田小学校
実施日	令和 6 年 1 月 1 1 日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、ICTを活用する等、校務業務を効率化し、働き方改革に取り組んでいる。	A	・9月にパソコンも校務システムも全てが変更になった。効率化された部分があれば、逆に使いつらくなった部分もある。慣れるまでに時間がかかる。 ・働き方改革のために、全員が共通理解する必要がある「締め切りや通知表に記入する文言」等、掲示板等に記して頂きたいです。 ・校務分掌が偏りがある。部内でもっと細かく役割分担をする。 ・会計業務は軽減された。	A	・新しいシステムの導入に伴い教職員が慣れるまでにかかる時間や、システムの仕様がこれまでと違い戸惑うこともあると思いますが、使いながら慣れていくことが必要であると思います。諸表簿が連携される機能は、校務システムならではの良さであるので、さらに進めてほしいと思います。 ・働き方改革で先生方が早く帰宅できるのはとても大切だと思うが、子供たちが楽しみにしている行事などは削減されるのはちょっと違うと思う。 ・情報通信システムが変わりつつある今、指導も大変だと思いますが、業務の軽減のため、一層業務分担に取り組んでほしいところです。 ・新しいシステム導入により、先生方の作業は大変なことがあるかもしれませんが、保護者にとってはC4thでの出欠連絡は便利です。キャリアが5年未満など若い先生が多いと聞いているので、業務や授業についてなど、コミュニケーションをとりながら進めてほしいです。 ・大変良いと思いますが、より一層頑張ってください。 ・現在は小学校からICTを活用している。授業参加で児童が一生懸命学んでいて、大変良いと思います。それも教職員の方々が良いからだだと思います。

評価項目「学力向上」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるように、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	・学年ごとにばらつきがあるため、ルールや規律の明確化をもう少ししてほしい。 ・教材研究を学年で行ったり、単元学習前に評価を確認したりして、単元計画を考える。 ・「指導と評価の一体化」を意識して指導していると思う。 ・毎週〇曜日の放課後は学力アップデーなどとし、学習補助することができたら良いのではないかな。 ・教科ごとに取り組んでいると思う。学力向上プランがあるのに、周知が足りないのでは。	A	・学力向上のために指導と評価を一体化させるということは、教員が具体的に日々行うこと、中期で行うこと、長期で行うことを明確にする必要があると思います。学校として何を焦点としていくのか見えづらく感じます。 ・データとして学力向上が認められるが、紙媒体のものが減り、保護者としてはわかりづらい。 ・与えられた時間内で学習指導の計画を立て、放課後の補習時間を少なくなる取り組みを考え、学力向上に繋がれば良いのではないかな。 ・クロムブック導入で、先生と子どもとのやりとりを見ると、かなり効果的に使われていると思います。宿題や個別の学習や取り組みについて、家庭とのやり取りが密になると良いと思います。 ・大変良いと思いますが、より一層頑張ってください。 ・学年ごとに指導していると思います。一年間学んだ学力が向上していて良いことだと思います。特に教職員の方が良いからだだと思います。

評価項目「豊かな心の育成」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、教職員自らが手本となり、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	A	・教師自ら率先して、手本となるような行動を意識している。	A	・教師が率先する事項を共有する必要があると思います。例えば教師から挨拶を行う、ごみを拾う、時間を守るなど、具体的に教師がとるべき行動を明確にすることで児童に身につけさせたい事項が明らかになりやすいと思います。 ・先生によると思う。 ・教職員自ら児童に対し、何につけ手本になるよう指導されている。 ・このまま頑張ってください。 ・校長・教頭先生をはじめ、教職員自らお手本となって行動を行っていて、大変良いと思います。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	S	・全校で食育の研究発表に向けて、研究授業を行う学級を中心に、食育の取り組みをよく行っていた。また給食委員会や栄養教諭が多くの取り組みを行い食育の意識が高まっている。 ・食への楽しさや大切さは給食の時間を通して学んでいる。しかしクラスの残食が多い。	A	・食育では、将来に向けて自分で健康に生きていくための食の選択が自分でできるようにするためのものだと思います。今年度は研究発表により先生方も意識が高まっていると思います。発表がなくても、今後とも特別活動や各教科の中で意識を高めていってほしいと思います。 ・栄養教諭の先生が、とても色々考えてくれていて、楽しくおいしく食べられる給食が多いと思う。 ・畑で野菜の育て方を熱心に指導を行っておられ、食や健康についても、教職員と児童と一緒に熱心に学んでおられるようです。尚学校地域交流会等も行われております。 ・子どもが、食育・給食活動のことをよく話してくれ、様子が伝わってきます。給食がとても楽しみなようです。 ・このまま頑張ってください。1つだけ、残食の問題は、先生や児童の皆さんで考えてみてはいかがでしょうか。 ・池小の給食を頂いて感じましたが、食育は大変に良いです。栄養の面、味の面、子どもたち皆喜んでいた。健康のバランスがとれていると思います。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、学校便りやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	S	・子供たちの写真の効果で、毎日のHPを楽しみにしている保護者が増えた。クラスルームで「本日〇〇についてHPに載っています」と書くと、HPにアクセスする保護者が増えた気がする。 ・ホームページの更新を日直が担当し、毎日学校の様子を発信することができている。	A	・日々の学校の情報を更新するサイクルが早くなり、保護者も喜ばれていると思います。お便りの配布の仕方は、学年やクラスによって異なることがないよう統一した方が良いと思います。すべての先生方がHPの更新ができることは素晴らしいです。 ・学校全体としては毎日HPで発信してくれているが、学年やクラスによって手紙の内容、頻度が全然違うので、もう少し合わせてもいいではないか。 ・HPでは、地域住民が興味を持って待っている情報を毎日発信されている。（学校だより等、学校内外での活動やスケジュール等、PTAからのお知らせ等） ・お便りの本来の目的である、行事や子どもの様子が保護者へしっかりと伝わっていない。ペーパーレスやアプリなどIT化を進めていても一番大事なのは、学校、先生方、保護者の間でしっかり情報を共有して、それに基づいて学校活動や行事、子どもの学習が滞りなく行えることだと思います。他の保護者からも多く意見が出ています。各学年の取り組みがバラバラなのも問題です。学年・学級だよりが無いなら、学校だよりだけは全家庭印刷し配布してほしいです。 ・このまま頑張ってください。 ・栄5丁目町会では、池小の下校の時間に見守りをしています。また、夏休みには子ども祭り、12月には子供たち約90名にお菓子をあげて大変喜ばれています。